

樹

緑の 相談所だよ

花

2005・10
2号

(財)兵庫県園芸・公園協会 緑の相談所

縄文の森・照葉樹林

兵庫県立大学教授 服部 保

前回は里山林管理の方法について報告しました。里山林は燃料や肥料を生産するために弥生時代以降育成された樹林ですが、その里山林が成立する以前はどのような植生が広がっていたのでしょうか。縄文時代の中期以降東北地方以西の大部分を被っていたのは、照葉樹林という樹高25m、太さ（胸高直径）150cmにも達するようなシイ、カシ、タブなどの常緑広葉樹（照葉高木）の優占する樹林でした。照葉樹林という名前はシイ、カシ、タブ、クスノキ、ツバキなどの照葉樹林構成種が、光が当たるとキラキラと照り輝くような葉をもっていることに由来しています。照葉樹林という用語は身近でないかもしれませんが、照葉樹林の林内には私達の生活と密着しているたくさんの植物が生育しています。生垣によく使用するウバメガシ、マサキ、サザンカ、ネズミモチ、イヌマキ、カナメモチ、イスノキ、サンゴジュ、ナワシログミなどはすべて照葉樹林構成種です。人と自然の博物館では単一種を用いた生垣ではなく、サザンカ、シロダモ、カナメモチ、イスノキ、クロバイ、コジイ、シリブカガシ、タチバナ、ミヤマシキミなど30種類以上の照葉樹を用いたおもしろい「混ぜ垣」を育成しています。生物多様性保全、環境学習の視点からの混ぜ垣づくりとよんでいます。生垣だけでなく、庭園や公園に植栽される種の多くが照葉樹林構成種です。ツバキ、クチナシ、クスノキ、クログネモチ、ヒイラギ、モチノキ、マンリョウ、センリョウ、ヤブコウジなどがそれらの代表種です。変わったところでは、日本の古典園芸植物として有名なフウラン、セッコク、ナゴラン、シノブ、マツバランなどの小型の植物が立派な照葉樹林構成種の仲間です。これらの植物は照葉樹に張り付いて生活しており、着生植物とよばれています。キンモクセイ、ジンチョウゲ、

ヒイラギナンテンなども中国の照葉樹林構成種です。神事や仏事に使用されるサカキ、ヒサカキ、シキミなどは照葉樹林の代表種といえるでしょう。食用とするスダジイ、コジイ、マテバシイ、ヤマモモ、染料として利用するシャリンバイ（大島紬）、スダジイ・タブ（黄八丈）、香料となるニッケイ、防虫剤（樟脳）の原料となるクスノキ、鳥もちを作るモチノキ、鮎などの料理を盛るのに用いるハラン、線香の材料となるタブなどのように私達の生活に照葉樹林構成種は深く関係しています。

照葉樹林構成種一つ一つが身近な存在とわかりましたが、それでは樹林、照葉樹林は私達とどのような関係があるのでしょうか。弥生時代以降照葉樹林は破壊され、そのほとんどが里山林へと変えられました。しかし幸いなことに各集落に1ヶ所程度の照葉樹林が残されました。その残された場所が神社や密教系の寺院です。宗教施設の中に原植生である照葉樹林を残したのは日本人の宗教観に依るものであり、そのおかげで人の手が加わる以前の植生や生態系を明らかにすることができるのはたいへん幸せなことだと思います。

兵庫県下にはたいへん良好な照葉樹林が各地に残されています。もっとも立派な樹林が神戸市西区伊川谷の太山寺のコジイ林です。面積も広く、樹林もよく発達し、カギカズラ、トキワガキ、タイミンタチバナなどの稀少種も分布しています。その他、赤穂市生島、豊岡市絹巻神社、三田市駒宇佐八幡神社などにも良好な林が残されています。

兵庫県では尼崎21世紀の森構想が進められていますが、その森の中核となるのが照葉樹林です。生物多様性が高く、地域になじむ照葉人工林の育成に人と自然の博物館のジーンファームは協力しています。



癒しの園芸

園芸研究家 岸野二三子

明石公園には巨木や古木が多く、森林浴をかねて散策するのに心地よい公園ですが、散策している人の多くは高齢者と言ってもいいほどで、高齢化社会に入ったといわれる現代日本を象徴しているかのようです。これまで経験したことがない社会が現実展開しており、先行きの見えない時代とあいまって花や緑へのニーズがより高まっているように思われます。

緑の相談所には園芸に関して、花が咲かない、育て方を知りたいといった相談が多く寄せられますが、それにまつわる家族や自分自身のことには話題が発展していくことも多く、それらを通して、多くの人々が安らぎや潤いを求めていることを知ります。

ふと老いを感じたとき、いいようのない深い孤独を感じたとき、植物はわれわれを優しく包み、安らぎを与え癒してくれます。植物の持つ力の奥深さや素晴らしさは誰もが実感していることでしょう。自然の摂理でただそこに存在し、ライフサイクルを全うする姿は、人々の心をほっとさせてくれます。

ところで、ガーデニング好きな人なら、園芸療法という言葉は一度は耳にしたことがあるかも知れません。まだ一般には聞き慣れない言葉ですが、福祉施設や病院などで取り入れるところが増えつつあります。

園芸療法とは、植物を媒介として、さまざまな障害を持ちつつ生きている人々の心身にトータルに働きかけ、その人々のもつ潜在能力を活かすことができるように手助けすることといえます。したがって、趣味としてのガーデニングとは目的が大きく異なります。趣味の園芸活動では、植物が主役ですが、園芸療法では、主役はあくまでも人間なのです。対象とする



河野 雅子

人がいれば、どうすればその人らしく輝いて生きることができるか、にまず注目します。そこで園芸によるアプローチが有効だと判断すれば、園芸療法士による園芸療法が行われるわけです。このようにもともとは心身のリハビリテーションとして発達した園芸療法ですが、今やヒーリングの側面からも注目されています。ヒーリングは、「Whole」＝「全体」という語源のとおり全人的に癒されることが求められています。



石野 明美

植物は、水や肥料を与え、世話をすればその結果として、花を咲かせ実をつけるばかりでなく、形や数字では表せない多くの恵みをもたらしてくれます。小さな芽が出て、ぐんぐん茎が伸び、ある時は知らない間に花を咲かせ、次世代への種子をつける…。ゆっくりではあっても確実にそして正直な反応を示す植物を見るのは感動の連続です。植物も人間と同じく命ある生き物だということを実感し、自分の人生を重ねあわせるとき、心の中で対話が生まれ、深い気づきが起こります。

完全に健康な人がいないのと同じように、癒しを必要としない人は誰一人いないでしょう。人がもともと持っている力を取り戻すための手段としても、花と緑がはたす力は限りなく大きいものだと思います。さまざまな思いや悩みを持ちつつも、多くの人や地域との関わりの中で、一人ひとりの存在を大切に、豊かに生きていく方法として、癒しの園芸は多くの効果をもたらすに違いありません。

園芸療法士のみならず、多業種の人が園芸療法について学び、それぞれの場で園芸療法の知識や技術を実践していくとき、園芸を通して多くの人が癒される日も遠くはないはず。傘がない時、ともに雨を受けてくれる親友のような、「ただそこにいる」といった存在にすぎない植物が持つ偉大な力に、人は支えられていることをさらに実感することでしょう。

樹名

私たちの周りに存在する物も、その名前の由来や背景等を知ることによって、より親しみを感じるようになることが少なくありません。そこで、今回は、少しでも樹木(名)に親しんでいただけるよう、樹名の「由来」等として定着しているものや代表的な「説」等を書いてみました。



樹名	樹名の由来、根拠(代表的な説)等々
アスナロ	明日はヒノキになろうとの意から
アラカシ	カシは堅して「堅い木」の意から、また、全体に荒い感じがすることから
イチョウ	葉の形が鴨の掌に似ており、その中国名(読み)の音から付けられた
イロハモミジ	葉の切れ込みを「いろはにほへと」と数えたから
ウバメガシ	姥芽の意。新芽が出る頃、その色が茶褐色で、姥がこの芽でお歯黒に使ったからという説
カエデ	カエデの葉が、「カエルの手」に似ているから
カナメモチ	新芽が赤いのでアカメモチが訛った、あるいは、扇の要(カナメ)をこの木で作るからの説もあり
クチナシ	実は熟しても口を開かないため
ケヤキ	木目や樹勢が秀でている「けやけき(他と異なり著しく優れている)」の木の意
コノテガシワ	枝が扁平で直立し、手のひら(この手)を立てたような形をしているため
コブシ	咲き始めた花の形が、「小児のこぶし」に似ているから
サクラ	サは穀霊、クラは「古語」の座で神の依り来る所の意。稲作の民の観念が春先に咲き誇る花にこの名を与えた

(3) 緑の相談所だよ

サザンカ	ツバキの漢字(中国名)に由来する「さんさか」が変化したもの
サルスベリ	樹皮が平滑でつるつる滑るため(サルでさえ登れないと言われる)
サンゴジュ	果実がサンゴのように見えるから
シャリンバイ	車輪梅。枝葉が枝頭を集まって車輪状に出ており、花はウメに似ているから
ジンチョウゲ	香木として著名な「沈香」と「丁子」の香を併せ持つとしてつけられた
スギ	直木(すき)、または、すくすく伸びる木の意
スズカケノキ	この樹の果実が、山伏の着る服の「篠懸(すずかけ)」に似ているから
ソメイヨシノ	江戸時代の終わり頃、「江戸染井」の植木屋から売り出されたため
ドウダンツツジ	枝が三叉状になるが、その先端が昔の灯台に似ており、「トウダイツツジ」が訛った
トベラ	茎葉を焼くと悪臭を発するため、鬼除けの「まじない」に、扉に挿した(トベラギ)がトベラになった
ナナカマド	「かまど」に7回入れても燃え残るほど難燃性だから
ナワシログミ	苗代を作る5~6月頃に、実が熟するため
ニシキギ	紅葉が特に美しいため
ネズミモチ	果実が楕円形で黒く、ネズミの糞に似ており葉はモチの葉に似ているため
ネムノキ	夜に葉が合さり、朝は葉の開くのが遅いため、「眠りの木」とも呼ばれたことから
バクチノキ	樹皮が剥がれる様が、バクチに負けて服を脱ぐのに似ているため
ハナミズキ	ミズキの仲間では花が目立つから
ヒイラギ	葉の棘が鋭く、触ると「ひいらく」(痒く)ことから、痒木と呼ばれ「ひいらぎ」となった
ヒノキ	火の木の意。木と木を擦って火をおこしたことから名付けられたとされている
マテバシイ	「待てばシイ」のことで、熟せばシイの実のようにうまくなるの意
マンサク	早春に他の花に先駆けて「まず咲く」から
ミズキ	水の木(ミズノキ)の意。春に剪定すると樹液がたくさん出る。
ムクノキ	ムクドリが好んでこの実を食べるので、この名がある
モチノキ	樹皮からトリモチを作ったから
ヤナギ	楊樹で矢の柄を作ったので、「矢の木」がヤナギになったとの説
ヤマナラシ	葉柄が長いので、微風でもよく音を立てるから
ヤマモモ	この樹の果実が甘酸っぱく食べれることから、「山になるモモ」という意味で付けられた
ユズリハ	若葉が出てくるのを待って古い葉が落ちるので「譲り葉」の名がついた

参考：樹木図鑑(保育社)、植物和名の語源(八坂書房)、DATA PLANETS

花だより・紅葉だより

		10月	11月	12月
フラワーセンター	バラ	●	●	
	ハボタン		●	●
	メランポジウム	●	●	
	ペンタス	●	●	
	ビオラ		●	●
	のじぎく		●	●
	アキランサス	●	●	
	モミジバフウ (紅)		●	●
西武庫公園	バラ	●	●	
	リュウノウギク		●	●
甲山森林公園	ヤクシソウ	●	●	
	ヨシノアザミ	●	●	
	アキノタムラソウ	●	●	
	サワヒヨドリ	●	●	
	ノコンギク	●	●	
	イロハモミジ (紅)		●	●
	オオモミジ (紅)		●	●
	ハゼノキ (紅)		●	●
一庫公園	コウヤボウキ	●	●	
	ドウダンツツジ (紅)		●	●
有馬富士公園	イロハモミジ (紅)		●	●
	ウリカエデ (紅)		●	●
	ナツハゼ (紅)	●	●	
播磨中央公園	ドウダンツツジ (紅)			●
	バラ	●	●	
	シユウメイギク	●	●	
	ベニバナトキワマンサク		●	●
	ピンオーク (紅)		●	●
	ハウチワカエデ (紅)		●	●
	アメリカフウ (紅)		●	●
	ラクウショウ (紅)		●	●
北播磨余暇村公園	バラ	●	●	
	イロハモミジ (紅)	●	●	
明石公園	カツラ (紅)		●	●
	イロハモミジ (紅)		●	●
明石西公園	ランタナ	●	●	
	ムラサキシキブ	●	●	
	フヨウ	●	●	
	ニシキギ (紅)	●	●	
赤穂海浜公園	ツバキ		●	●
	ツバキ		●	●

※(紅)は紅(黄)葉が見頃を示しています



花と緑の催しほか

10月		
フラワーセンター	コスモスを愛でる	10/1~10/20
	兵庫県連合菊花展覧会(第28回)	10/16~11/23
	上段日程(盆栽・懸崖)、下段(大菊・補助)	10/16~11/13
	ペゴニア展	10/20~10/25
明石公園	明石公園まつり	10/9
	明石公園菊花展覧会(第77回)	10/20~11/23
西武庫公園	幼児・児童写生画コンクール	10/22~11/6
甲山森林公園	木彫りの野鳥展	10/3~10/16
有馬富士公園	ありまふじフェスティバル	10/22~10/23
播磨中央公園	秋のばらまつり	10/15~10/30
舞子公園	秋のフリーマーケットin舞子公園	10/15~10/16
11月		
フラワーセンター	菊切り花展示	11/1~11/7
	クリスマス	11/26~12/23
	洋蘭・シクラメン特売会	11/26~12/6
明石公園	兵庫県民農林漁業祭	11/5~11/6
北播磨余暇村公園	ココロ那珂もみじまつり	11/13
赤穂海浜公園	秋のわくわくフェスタ	11/3・5・6
12月		
11月から継続している催しがあります		



小松原 信篤

Q & A

園芸研究家 安水 賢吾

1. 家庭でできる腐葉土の作り方

Q 秋には、近所でたくさん落ち葉を集めることができますので、一度良質の腐葉土を作りたいと思います。家庭でできる簡単な方法をお願いします。

A 材料には、ケヤキ・クヌギ・シイ・カシ等落葉広葉樹の落ち葉が最適で、ツバキ・サザンカ等の常緑広葉樹も成熟期間を長くすれば良質の製品を作ることができます。ただし、ごく薄葉のサクラや、腐りにくく、有害物質を含むイチョウやマツ等針葉樹は一般に使用しません。

詰め込み容器は、ふた付きの大型ポリバケツを使用し、容器の底面と側面に20cm間隔ぐらいに、ドリル等で通気穴を均一にあけておきます。

集めた材料は、予めたっぷり水を打って、湿らせておきます(強く握りしめて水がにじみ出る程度)。湿った材料を容器に厚さ20cmほど均一に入れ、足でよく踏み固め、その上に、米ぬかまたは油かすを一握りほど均一に振りかけます。同様の操作を数回繰り返し、容器が満杯になったら、ふたをして、そのまま熟成させます。1ヵ月後に、全体を上下層がよく混ざり合うように、材料をよくかき混ぜ(切り返し)、その後も適宜切り返しを繰り返しつつ、3~6ヵ月間完全に熟成させます。良品は濃黒色で、無臭です。

2. 観葉植物・鉢物等の冬越し

Q 冬には、室内でも植物によって落葉、葉枯れ、根腐れしたり、枯らしてしまうこともあります。家庭でできる簡単な冬越しはどうすればよろしいか。

A 先ず、植物の越冬最低温度と、部屋ごとの昼夜の室温と位置別(窓ぎわ・部屋中央、床上・高所)の温度と日別変温差を知っておくことが先決です。

カトレアやコチョウランのように最低温度が12~13℃以上必要な植物は、保温・保湿装置付きワーディアンケース等の保温装置が必要になりますが、10℃以下の植物なら、以下の方法でも十分効果があります。

- ・昼間は日当たりのよい窓辺(葉やけを起こす恐れのあるものはカーテン越し)に、夜間は部屋中央に置く。
- ・アルミ蒸着フィルム等保温資材で鉢部を包んだり、発泡スチロール箱を裏返し、鉢径と同じぐらいの大穴をあけて鉢を差し込み、低温から根を守る。
- ・夜間に、段ボールや紙袋を植物の上から掛ける。
- ・同一部屋でも、高い場所に置く。
- ・鉢土への水やり回数はできるだけ控え、葉水を主体とする。生育中の草花・球根以外は肥料を与えない。
- ・暖房器を使用している時は、加湿器を併用し、温風が直接植物に当たらないように注意する。
- ・昼夜温度格差は10℃以内に抑える。

3. クンシランの株分け法

Q 数年育てているクンシランに子株が付き、鉢が狭くなりましましたので、株分けしたいと思います。株分けの時期と仕方を教えてください。



春日 多津子

A 大鉢にして、子株とともに2~3本仕立てにすると豪華ですが、取り扱いにくくなるので適宜株分けします。クンシランの株分けの適期は10月上・中旬から来年5月です。株分けの手順は次のとおりです。

- ・株分け作業の5~6日前から水やりを控え、乾かし気味にして、作業時の根の傷みを防ぐ。
- ・株を鉢から抜き、根を傷めないように注意しながら、古土や傷んだ根を取り除き、きれいに水洗いする。
- ・本葉が5~6枚、健全な根が最小限3本以上出ている子株を分ける。親株と子株の分岐点を見きわめ、清潔なナイフ等で株元に切れ込みを入れて切り離す。
- ・病原菌におかされないように、切り口にトップジンM等の殺菌剤を塗布し、30分ほど乾かす。
- ・それぞれの株は、大きさの見合った鉢に植え付け、十分かん水して、2週間ほど日陰に置いた後に、一般肥培管理に移す。ただし、子株は根が少ないので、水やりは一般株よりやや控えめにあたえる。

用土は、従来と同様の配合土や赤玉土・軽石・腐葉土各1/3配合土または市販の専用培養土を用いる。

4. 秋植え球根の植え付け

Q チューリップなど秋植え球根を花壇に植え付け、来年用の子球もとりたいと思いますが、どのように管理すればよいでしょうか。

A 植え付け時期は10~11月が適期で、早すぎると高温のため球根が腐る恐れがあり、12月に入ってからでも植え付け可能ですが、花は小さくなります。

植え付ける場所は、日当たり・排水のよい、肥沃地を選び、植え付け1~2週間前に、20~30cm起こし、1㎡当たり完熟堆肥等5~10ℓ、苦土石灰150~200gを土によく混ぜておき、植え付け時に成分等量緩効性化成肥料(N・P・K: 8-8-8等)を300gほど施します。

球根の植え付け深さ・間隔は、球根の高さの3倍深、球根径の2~3倍間隔を原則とし、出葉方向をそろえるため、球根の向きをそろえて植え付けます。

水やりは植え付け直後は通常行いませんが、冬期乾燥時には適宜かん水します。未だ芽が地上に出ていないので、とかく忘れがちですが、注意が必要です。

追肥は、翌春の出芽時に速効性化成肥料30g、花後にP・K分の多い化成肥料を30g程度与えます。

花後できるだけ早く花首から花を切り、7~8割葉が黄変したら掘り上げ、球根消毒して乾燥貯蔵します。ウイルス病が頻発するので、罹病球を厳選廃棄します。

5. イチゴの植え付け

Q 家庭菜園でイチゴを楽しみたいと思いますが、経験がありませんので、作りやすい品種、植え付け時期や作り方を教えてください。

A 家庭で作るのなら、「宝交早生」「ダナー」等従来からある品種が作りやすいでしょう。

植え付け時期は10月下旬～11月上旬で、場所は日当たり・排水性・保水性がよい肥沃な土壌が適します。

地ごしらえは、20～30cm荒起こして、1㎡当たり完熟堆肥3～4kgと石灰類100～150gを全面にまき、砕土して土とよく混ぜ合わせておきます。1週間ほどおいて高濃度の化成肥料100gとようりん30gを全層に施し、幅60～70cm、高さ20cmの畝をたてます。

がっちりした苗を選び、30cm間隔に2条植えしますが、植え付ける際、枯れたランナーが付いている方採苗した親株に近い方、果実は反対側に成る方を相互に畝内側に向け、クラウン部(葉のつけね部分)が少し埋まる程度の浅植えて、十分にかん水します。

植え付け後、1月下旬～2月上旬に化成肥料30～40gを追肥します。2～3月に乾燥・雑草を抑えるため、黒ビニールをマルチする場合は、ビニールを全面にかぶせ、両側を土でおさえてから、株上部分をカッターで十字に切って、株全体を取り出します。

6. ウメのカイガラムシの防除

Q 盆栽ウメや庭ウメに毎年カイガラムシがついて見苦しく、害も大きいと思います。的確な防除法をお願いします。

A ウメばかりでなくその他の果樹・庭木につくカイガラムシやダニ類の防除のため、12～2月の生育停止ないし休眠期に、マシン油乳剤または石灰硫黄合剤を散布すれば、春からの病害虫の発生もかなり抑えることができます。また、石灰硫黄合剤はサビ病・ウドンコ病等多くの病害にも有効です。

しかし、両薬剤とも化学性・毒性が強いため、成らせすぎた果樹、樹勢が弱った樹や動き始めた新芽にかかるとう薬害が出やすく、その他ほとんどの薬剤とは混合使用できない、金属腐食性が強いので、計量容器類はガラス・プラスチック製を用い、噴霧器も使用後石けん水をよく通しておく、粘膜が犯されるので散布時には必ず防護具を身につける、などの注意が必要です。

盆栽等のカイガラムシ防除はブラシ・布などで簡単にこすり落とせますが、広く防除するには薬剤を使用せざるをえません。兵庫県病害虫防除基準によれば、ウメのウメシロカイガラムシ等の防除に、12月にマシン油乳剤、幼虫発生期(5～6月、7月、9月)にスプラサイドまたはアブロードの散布を奨めています。

兵庫県 緑の相談所

あふれる緑と悠久の城跡。静かな明石公園の一角に「緑の相談所」があります。相談所では「花と緑」に関するあらゆる相談、学習ができます。一度訪ねてみてください。きっと新しい発見がありますよ。



木戸 賀侑子

■相談所の目的

当初は、高度成長時代の急激な都市化を受けて、都市の緑化と環境改善を強く支援する施設として設けられたが、その後のガーデニングの動向を受け、「緑」に「花」の要素も加わり、それらの普及と定着、さらには環境の世紀への啓蒙を担っている。

■施設の概要

開設 昭和55年5月

主な施設 相談室(相談員が常駐)、展示室(森のしくみ等のパネル展示)、図書室(喫茶閲覧可)、研修室(園芸教室等の開催)、喫茶コーナー等

業務日、時間 (火曜日及び12/29～1/3を除く)

毎日 9:00～17:00

TEL、FAX : 078-918-2405

Eメール : info_midori@hyogopark.com

■主な業務の内容

1 花と緑についての相談

- ・「花と緑」についての、あらゆるご質問に、相談室で直接、または電話・メール等でお答えします。

2 園芸教室

- ・「園芸を基礎から学びたい」、「樹木の手入れ(例:剪定)を

実際の現場で学びたい」、「親子で森の中で学び遊びたい」等々、いろいろなご要望にお応えできるよう、種々の講座(約50講座)を設けています。

3 花の苗販売

・毎週、土・日曜日

(ただし12月～2月は第1及び第3土・日曜日)

【販売時間】 13:00～15:30、【場所】 相談所ロビー

4 シードバンク(種子の交換会)

・(8月を除く)年間を通じて、第2及び第4土・日曜日

【交換会の時間】 13:00～15:30、【場所】 相談所ロビー

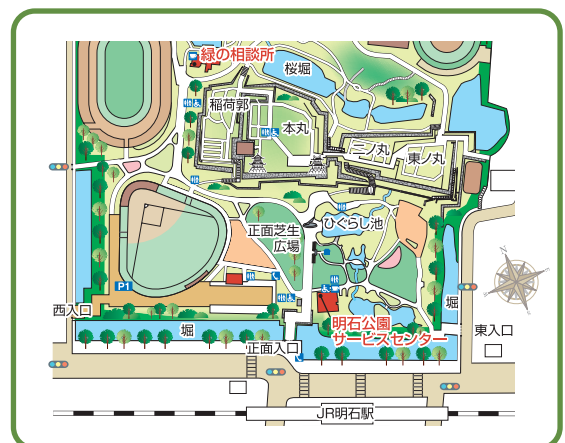
5 図書の閲覧

・毎週、水・土・日曜日の10:00～12:00

■その他

相談所の職員と一緒に、「花と緑」に関する活動をしてみたいと考えておられるボランティアを募っています。ぜひ、相談所に声を掛けて下さい。

【明石公園】



平成17年 10～12月 園芸教室のご案内

1講座だけでも受けられます。事前申し込み必要。受講料は1回100円。
日程・申し込み受付開始日は変更になることがあります。

一般講座

NO.	日程	課題名・内容	講師名	申込開始日
20	10/14 金	クレマチス等つる性花木の育て方と剪定法 (内容) クレマチス・ノウゼンカズラ等、主なつる性植物の育て方と剪定法	高田 正	9/30
21	10/21 金	園芸療法の歴史と理論 (内容) 園芸療法の歴史と実践理論、国内外の取組みの現況、園芸療法士の養成	藤田 隼人	10/14
22	11/2 水	庭木の管理(3): マツと植木 (内容) マツのもみ上げ、病害虫防除・寒肥等庭木の冬季管理法	原 忠敏	10/21
23	11/18 金	公共機関による園芸療法の取り組み事例 (内容) 淡路景観園芸学校等公共機関・団体による取り組みの現況と事例紹介	藤田 隼人	11/2
24	11/20 日	森で遊ぶ(秋) *小学生と保護者対象 (内容) 落ち葉・どんぐり等を用いた遊びや木登り等指導員と一緒に遊ぶ	西森由美子	11/18
25	12/1 木	熱帯性鉢植え花木の育て方と冬越し (内容) ハイビスカス・ブーゲンヴィレア・その他輸入花木の育て方と冬越し法	角所 誠司	11/20
26	12/2 金	庭木の管理(4): 植え付け・移植と増殖(挿し木・接ぎ木) (内容) 花木・果樹等の新植と根回し法、挿し木・接ぎ木等の殖やし方	高仙坊義治	11/25
27	12/9 金	グループにおける園芸療法の取り組み事例と体験報告 (内容) 園芸療法を目的とした実践グループの活動事例	藤田 隼人	12/2
28	12/23 金祝	正月用松竹梅寄せ植え実習 *参加費とは別に材料費が必要 (内容) お正月に向けて松竹梅寄せ植えを作る	小山 重示	12/14

園芸基礎講座コース (全6回) *一括受講の形での追加受付できます

日程	課題名・内容	講師名
10/23 日	肥料の種類と施肥法 (内容) 肥料要素の働き、市販肥料の種類と植物の種類別・時期別の施肥法	安水 賢吾

専門講座実技コース (全4回) *一括受講の形での追加受付できます

日程	課題名・内容	講師名
11/6 日	マツの剪定・整枝と生垣の刈り込み・手入れ (内容) 現地での実技	佐藤 博司
12/11 日	庭木の植え付け・移植 (内容) 現地での実技	佐藤 博司

参加型講座

日程	課題名・内容	講師名	申込開始日
10/2 日	自然観察(秋) 作品展 *小学生と保護者対象 (内容) 3種類のどんぐりを写実し、その作品を展示	松井 安由	9/25
10/7 金	園芸教室意見交換会 (内容) 園芸教室のあり方等について自由に意見交換していただく(自由参加)	岸野二三子	9/9

移動園芸教室

日程	課題名・内容	場所	申込開始日
10/30 日	甲山森林公園 *小学生と保護者対象 (バスで移動します)	西宮市	10/1

(お知らせ)



- 今年度より始めましたシードバンク、花の苗販売、図書の閲覧はP5をご覧ください。
- カットは、いずれも当「緑の相談所」の「植物画の描き方」教室での作品です。
- 写真提供 田中克明

2号 (2005年10月発行・年4回)
(財)兵庫県園芸・公園協会 緑の相談所
〒673-0847 明石市明石公園1-27
TEL/FAX. (078) 918-2405